

半生がノンフィクションに

村田 互

ラグビー・ワールドカップに三回出場、昨年四月には三十七歳にして日本代表復帰を果たしたヤマハ発動機ジュビロのスクラムハーフ、村田互むた互選手の半生を描いた『奇跡のラグビーマン』（双葉社 1600円＋税）が刊行された。帯には同じ学年のジュビロ磐田・中山雅史選手の推薦の言葉が躍る。著者はフリーライターの太友信彦氏。

「大友さんとは自分が専修大三年で、初めての秩父宮での試合後に話をしてからの付き合いです。九月に僕が試合中に頸を骨折してしまい、かなりご心配をかけたようですが（笑）、発売までに必ず治すんだという目標になりました」

入院中も取材は続き、ラグビーを始めた少年期、東芝府中で日本選手権三連覇を達成し、日本人初のプロ選手として移籍したフランスでの日々、そして新興・ヤマハに加入後の奮闘を活写する、熱いノンフィクションは完成した。

「いまはヤマハがタイトルを獲得することを一番に考えています。最近是指導する側としての意識が強くなってきました。が、今季はまだ『9番』をつけていない。これからの試合が楽しみなんです」

稀代のスクラムハーフは二十二日にマイクロソフトカップ一回戦（対サントリィー花園ラグビー場12時）、二十五日には三十八歳の誕生日を迎える。



©ヤマハ発動機株A.Kubo